

第14回総務、産業、建設常任委員会記録

招 集 年 月 日	令和5年2月17日（金）
招 集 の 場 所	議員控室
開 会	午前9時26分
出 席 者	委員長 山岸 三男 副委員長 佐野 善弘 委員 赤坂 芳則 委員 藤田 洋一 委員 櫻井 功紀 委員 前原 吉宏 議長 鈴木 宏通
欠 席 者	
職務のため出席した者の職氏名	議会事務局主事 佐藤 理子
協 議 事 項	・総務、産業、建設常任委員会報告書の確認 ・調査研究テーマについて
そ の 他	
閉 会	午前11時32分

2号様式 協議の経過

山岸委員長	皆さん、おはようございます。ただ今から、第14回総務、産業、建設常任委員会を開会したいと思います。まず、委員長挨拶ということですが、今日は前回、第13回の常任委員会の席上でいろいろな報告書の修正がありましたので、あらためて内容を修正した部分と政策提言の内容を書き直してまいりましたので、これらを皆さんに精査していただきたい。もう一つは、次回の調査、研究テーマについてということで、皆さんにどういうテーマに取り組むかということを会議事項としておりますのでよろしくをお願いします。それでは、早速ただ今から。 （「委員長、委員会の成立宣言すらいん」の声あり） 今日は委員全員、6名出席しておりますので会議は成立しております。議長も参加しております。以上でございます。早速、会議に入ります。 皆さんのお手元に新しくできた総務、産業、建設常任委員会報告書、ありますね。そのまず1ページをめくっていただいて、前回の修正すべき点を一応、ここで修正して新たに記入してございますが、この間、皆さんから意見いただいたので、経過の開催回数入れたらいいんじゃないかということで、今ここに回数入っています。それで、第2回から入っているということなので、これは第1回というのは、常任委員会のテーマのどのじゃなくって、常任委員会の委員長、副委員長を決める会議が1回目にあったんですね。その会議を入れていいのか、それが1回目になるのか。その判断がちょっと私も事務局としても分からなかったもので、ここで皆さんにどういうふうな入れ方したらいいのか。これ常任委員会としては第2回目になるんですけども、研究テーマについての協議というのは、これが2月16日がまず第1回目になるんですね。この取り扱いを1回にするか2回にしたらいいのか、その辺を皆さんにご意見をいただきたいと思います。ありませんか。これ第2回を1回にすると常任委員会の次第の回数が変わってしまうことになるんですけども、この部分をどうしたらいいですかね。
佐野副委員長	1回目、2月いつだったですかね。 （「2月9日です」の声あり） 足して、内容を入れればいいんじゃないですかね。
山岸委員長	第1回、2月9日のやつを。
佐野副委員長	内容は委員長、副委員長選任とか。別にいいんじゃないですかね、どうなんですかね、皆さん。
山岸委員長	今、佐野副委員長から第1回目は、委員選任についてという内容。2月8日、第1回ということなんですが、それ入れてもよろしいですかね。いいですか。 （「委員長、副委員長選任ね」の声あり） 選任。今まであまり聞いたことないないげっとも。 （「今までの見ると研究テーマを協議事項にした時の回数しか経過に出てこなかったの」の声あり） そうなんですよ。

	（「今までのやり方とずれてしまうんですけども、1回目に委員長、副委員長の選任を入れるとなれば入れますし」の声あり） この辺が私引っかかっているのは、研究テーマについての協議した経過なんですね、回数。それに第1回目が常任委員長、副委員長の選任をどうなのかなとちょっと疑問に思っているんです。休憩します。
	休憩 午前9時33分 再開 午前9時41分
山岸委員長	再開します。ただ今、皆さんに協議していただきました。政策研究に関する事項の3番の経過についての箱枠の中の開催回数、これは今回なくす、削除する。そして開催日だけの内容についての記入とするということで皆さんに合意いただきましたのでよろしいですね。 （「はい」の声あり） わかりました。休憩します。
	休憩 午前9時42分 再開 午前9時46分
山岸委員長	再開します。2ページを開いていただきます。その前に1ページね、14回が今日なんですけども、14回で終わるか終わらないか、今日終わるか分からないね。もう一回やらなければならないかもしれないし。この回数どうします。ちょっと保留にしておきます。 （「回数除いでさ」「中身さ」の声あり）
佐野副委員長	3の経過の内容なんですけども、7月28日、所管事務調査、大分県臼杵市って、これWeb研修とかって文言を入れたほうがいいんじゃないかなと思ったんですけども。 （「臼杵市、Web研修でいいんでねえか」の声あり） 追加したほうが良いと思いますけど、いかがでしょうか。 （「中に入れてWebによる所管事務調査」の声あり） それでもいいですね。
山岸委員長	ただ今、佐野副委員長から7月28日の所管事務調査（大分県臼杵市）となっています。この所管事務調査の前にWebでの所管事務調査。 （「Web研修」の声あり） Web研修、研修じゃないか。所管事務調査の頭にWeb研修。 （「Webによる」の声あり） Webによる所管事務調査にしますかね。所管事務調査の前にWebによる所管事務調査。そういうことで文言を付け加えさせていただきます。ほかによろしいですか。いいですね。佐藤主事、お願いしますね。 1ページについてはよろしいですか。 （「はい」の声あり） 次、2ページに移ります。2ページ、4です。政策提言ということで一応、読み上げさせていただきます。（1）移住、定住施策体制の確立。移住施策、地域の活性化、地域共生施策を横断的に取り組む課を新設し、推進すべき。

	(2) 移住、定住支援。空き家バンク制度、空き地バンク制度により登録件数増につなげる。不動産業組合などと連携し、空き家の活用促進として家財処分費、改修補助金を制度化。空き家所有者と買いたい、借りたい人の利用者のマッチングを図る。 (3) 移住、定住者には仕事の確保は必須事項。空き家物件見学、農場見学、町内企業案内ツアー、お試しハウス体験などの施策に取り組むこと。 (4) 移住支援金、定住促進住宅取得補助金、若者・子育て世帯家賃補助金、Uターン支援住宅改修補助金などを制度化し、移住しやすい条件づくりも必要である。 (5) 新婚生活応援。新婚生活応援補助金、新婚世帯家賃補助金、結婚祝い金などの制度化を検討すべきである。 (6) 若者・子育て世代の定住促進。同居家族支援住宅補助金や子育て支援策として子育て応援金、誕生祝い金、卒園・卒業祝い金などの現金給付施策を検討すべきと考える。 (7) 移住、定住相談窓口、サポーターなどの設置。移住後も気軽に相談できる環境支援体制の構築を検討すべきと考える。 3 ページで (8) 施策促進するための財源確保が重要な課題となる。県補助金、過疎債、ふるさと納税などを活用すべきと考える。 と、前段と違う内容に一応まとめております。それで、皆さんに (1) から (8) まで一つ一つ内容について精査をしていただきたいと思います。休憩します。
	休憩 午前9時51分 再開 午前11時08分
山岸委員長	再開をします。総務、産業、建設常任委員会の報告書、1 ページについては1 から2。 (「1 ページは終わったから」の声あり) いいですか。2 ページ目ね。4 の政策提言の (1) の文章の3 行の一番下、「推進すべきである」を入れます。次 (2) 最初、「移住、定住支援」、これは削除して、「空き家、空き地のバンクの活用」と入れます。そして次に、下の行で「空き家、空き地所有者にアンケートを実施し、空き家、空き地バンク制度へ誘導することにより、登録件数に繋がる」という文言にします。一番下の「マッチングを図る」の後ろに「べきである」を追加します。(3) はこのままで、3 行目の「取り組むべきである」という文章を追加します。(4) この頭の「移住、定住促進補助金の拡充」という文言を入れます。そして、2 行目の「Uターン支援住宅改修補助金」、これが①になります。次に (5) の「新婚生活応援。」は②にします。それで表題を「新婚生活応援補助金。」次 (6) の「若者・子育て世代の定住促進」はなくして、③として「同居家族支援住宅補助金。」にします。(7) はこのままの文言で、最後の「検討すべきと考える」を「検討すべきである」に文章を直します。次の3 ページの (8)、「施策促進するための財源確保は重要な課題となる。県補助金」の前に「国」も入れます。「国・県補助金」となりま

	す。それで2行目の「ふるさと納税などを有効活用するべきである」に直します。以上です。修正、これでよろしいですか。 （「はい」の声あり） はい、分かりました。 （「過疎債いいんだすべ」「言わないから」「言ったよ」「過疎債、言ったでば」の声あり） これで、報告書の修正、調整を終了しますが、この内容については私あとで口述書を当日前まで作成してきます。そして、当日の前に口述書を皆さんに見ていただきますので、また検証していただきます。以上ですが。これで総務、産業、建設常任委員会の研究テーマの報告書については終了します。よろしいですね。 （「はい」の声あり） 次の今日の会議事項、次年度の調査研究テーマについて、皆さんにいろいろ検討いただきたいと思います。提案のある方は手を挙げて、ぜひお話しください。ちなみに事務局で作ってくれました平成24年から令和4年までの資料、皆さんありますね。 （「ある、ある」の声あり） ずっと2年、2年続けてきた項目が1、2、3、4項目あります。令和3年までは、公共施設マネジメントをやりました。今回は移住、定住の促進は終了します。5年に入って、どういうテーマにするか。考えを持ってきた方いたらば、ぜひお願いします。一人ずつ聞きますか。櫻井委員は何かありますか。
櫻井委員	別にないです。私は委員長の提案に従います。
山岸委員長	赤坂委員は何か。
赤坂委員	えっとね、令和元年に取り組んだ町有未利用地の利活用。これは2年度、3年度の公共施設のマネジメントと共通しているんだろうけどね。これはね、やっぱり未利用地が町内にあるんでね。 一般質問するべと思ってつけとも。その辺あたりは、皆で考えていかねげねっちゃ。
山岸委員長	今、赤坂委員からは令和元年度、町有未利用地の利活用について、正しくこれからは3年、4年後には小牛田中学校、不動堂中学校、空き地になりますからね。
赤坂委員	中学校跡地の有効利用ということで進めていただきたいと思います。
山岸委員長	一旦、休憩します。休憩して皆さんからご意見いただきます。休憩します。
	休憩 午前11時16分 再開 午前11時32分
山岸委員長	再開します。次回の総務、産業、建設常任委員会の会議は、3月議会の会期中内に日程を調整して決めるということにしたいと思います。それでよろしいですね。

	(「はい」「研究テーマについてね」の声あり) 研究テーマについてですね。これで第14回総務、産業、建設常任委員会を終わります。佐野副委員長、閉会の挨拶をお願いします。
佐野副委員長	本日は4年度の研究テーマの報告書のまとめ、大変ご苦勞様でございました。来月から3月議会等ありますので、皆さん、体に十分留意して臨んでいただきたいと思います。本日は大変ご苦勞様でございました。
	閉会

会議の経過を記載して相違ないことを証するため、ここに署名する。

令和5年2月17日

総務、産業、建設常任委員会

委員長